



実践的学術の国際拠点として

# YNU research initiative 2010

with I<sup>3</sup> research: Intelligent, Innovative and International research



横浜国立大学

# 実践的学術の国際拠点として

今世紀になって顕在化した、環境との調和、資源偏在の克服、異文化間の紛争など、人類が直面する地球規模の課題を解決し、普く人々に福祉をもたらす源泉として、科学が果たす役割はかつてないほど大きなものとなった。

本学は、研究活動への取り組み「YNU research initiative 2010～実践的学術の国際拠点として～」をここに示し、科学に基づく知を創造して実践する教育研究機関としての本学のアイデンティティを確立する。



## 1 | Concept

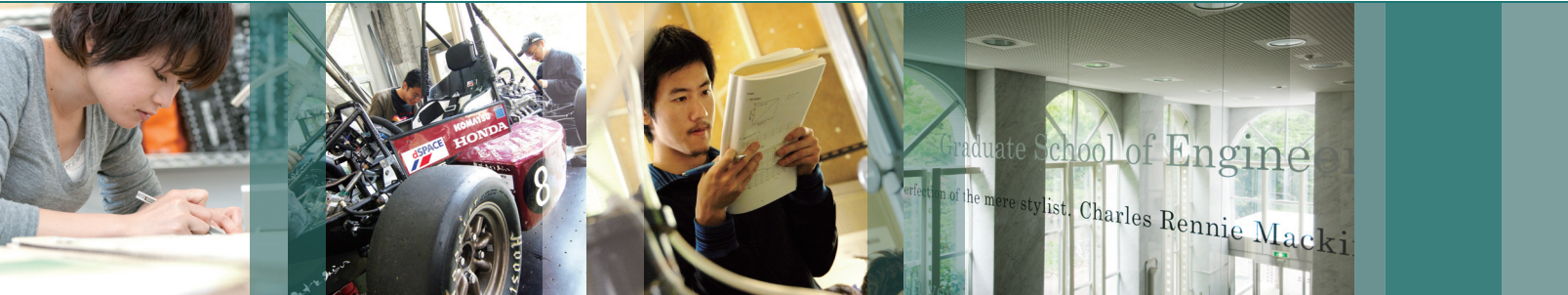
### 研究のコンセプト [知の創造と実践]

人々の福祉と社会の持続的発展に貢献する、科学に立脚した「知」を創造して実践する。

## 2 | Policy

### 研究活動のポリシー [高度な研究と人材育成]

Intelligent, Innovative そして International で高度な研究-I³ research-を研究倫理の遵守の基に推進し、知の創造と実践のための「実践的学術の国際拠点-Key Institute-」を形成する。そして、教育力の源泉でもある研究力を強化し、研究を通じて社会を先導出来るリーダー人材を育成する。



### 3

## Action

## アクション [不断の進化]

### 3-1 研究者と研究者組織

#### ■ 研究者の活動水準

研究力の標準となる指標や採用・昇任人事における評価基準を明確にし、本学の研究者全員の活動を、国際的に第一級と目される水準とする。

#### ■ 主幹的研究者の支援と育成

我が国や世界をリードする中心的な研究者—主幹的研究者—の活動を支援して研究拠点の形成を図るとともに、採用人事方式の多様化や研究成果の積極的な広報による主幹的研究者の育成を推進する。

#### ■ 新領域や共同研究への展開

複数の主幹的研究者の協力による新規研究プロジェクトの創出を推進する。また、本学研究者と学内外の研究者との交流機会を設け、共同研究や新領域への研究の展開を促進する。

#### ■ 若手研究者への支援

若手研究者に対して、研究室の運営、研究の推進、資金の獲得などに関する指導と支援を様々な組織レベルで行い、主幹的研究者への成長を支援する。

### 3-2 研究環境の整備充実

#### ■ 研究関連情報の収集と活用

研究予算公募などの外部情報や本学研究者の研究活動に関する内部情報を収集する。収集した情報を評価解析して研究者に提供するとともに、研究者や研究者集団に研究プロジェクト申請をはじめとする、研究高度化を目的とした提案を行う。

#### ■ 研究支援

研究者が獲得した外部資金の内容と規模に応じて、支援要員の配置、研究スペース(面積)の優先提供など多様な支援を行う。

#### ■ 共通基盤施設や設備・情報基盤の充実

研究支援機能を有する共通施設や研究のための基盤的設備、データベース等の情報インフラの整備、充実を推進する。

#### ■ 研究推進時間の確保

様々な業務の見直しと合理化を進め、研究時間の確保や新分野進出のための学内職務免除制度等の実施に努める。

### 4

## Tie-up

## 社会とのタイアップ [知の実践と実学の深化]

#### ■ 共同研究の推進

産学官連携拠点としての機能を充実して共同研究等を推進し、研究に基づく社会貢献と新たな研究課題の発見による研究の進展を図る。

#### ■ 実践による教育の充実

実践的の学生教育、技術者再教育、生涯教育、早期人材育成事業等を産学官の協働等により推進する。



## ＜横浜国立大学のグランドデザイン＞

横浜国立大学は、開学以来自由な学風の下、実践性・先進性・開放性・国際性を精神とする教育と研究により、「知」を醸成させてきました。同時に、社会の中核となって活躍する人材を育成するとともに社会基盤を支える豊かな研究成果を発信することで、その「知」を社会に還元してきました。

本学は、「人々の福祉と社会の持続的発展に貢献する」ことを大学の理念として、高度で実践的な研究能力や職務遂行能力を持つ人材の養成を責務とし、実践的学術の国際拠点として充実することを大学全体の目標として掲げ、国立大学としての社会的責任を果たすことを目指します。

これらの理念に基づき、横浜国立大学は自らの個性を伸ばし、高度な研究をベースにした先進的かつ実践的な教育を行っていくことにより、「知」の醸成と社会還元を続けていきます。

## 横浜国立大学

YNU initiative

編集・発行：国立大学法人横浜国立大学 産学連携推進本部  
〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79番1号

TEL:045-339-3073 FAX:045-339-3057

<http://www.ynu.ac.jp/>